■増田文彦

3

横浜 0 観光振興・三つの c" h a " 1 Chance, Challenge & Change

2―「地域観光地」のどこが悪い

1―二位グループからの脱け出しを

4―「観光ハブシティ」への挑戦3―頑張りどころの観光施設

5―「ビッグイヤー」にしよう、二〇〇二年

1|二位グループからの脱け出しを

四、一七五千人に達して、 のの、それ以前の水準にまでは落ち込んでい 二千人であったから、倍に近い増加ぶりであ 客数を記録した。 人に近い観光客を迎え、昨一九九九年には三 った。それ以前の最高が、前年の二二、〇六 開催されたのが、観光誘客の大きな要因とな から九月まで半年間にわたって横浜博覧会が 見ると(表―1)、過去最高であったのは一九 で(注)、横浜の入込客数=観光客数の推移を れにホテルや旅館の宿泊者数を合計したもの 数値をもって、「観光客数」と呼んでいる。 は私たちが「入込客数」として把握している 八九年の四〇、一九五千人で、この年は三月 通機関の乗客数、観光イベントの観客数、そ 入込客数は、観光施設の入場者数、観光交 観光客の実数の把握はまず不可能で、通常 横浜博覧会後は、さすがに減少をみたも 特に一九九三年以降は三〇、 過去第二位の観光 000千

以下神戸市(二五、二八〇千人)、名古屋市(一八、九七〇千人)で、横浜市はこれらに続き、次が大阪市(九五、八八〇千人)、京都市(三で、トップは東京都(二七六、八三〇千人)、この数値を全国比較で見ると、一九九八年

特集・21世紀の地域産業政策❺地域産業政策と街づくり

八、五〇〇千人)の順となっていて、京都、代、五〇〇千人)の順となっていて、京都との差が現状である。一九九九年には、京都との差が現状である。一九九九年には、京都との差が現状であると、観光振興に向けた戦略の長所や短であると、観光振興に向けた戦略の長所や短がる神戸、日本情緒あふれて全く異なる京都であると、観光振興に向けた戦略の長所や短が相互に見えやすいところがあるので、これら都市の戦略の組み立て方や考え方にまで踏み込んで研究していくことが、意味を持って来るのではないだろうか。

2 「地域観光地」のどこが悪い

四五%程であるから、横浜の県外からの観光であうか。運輸省による都道府県単位の調査によると(次頁図―1)、神奈川県の県外観によると(次頁図―1)、神奈川県の県外観によると(次頁図―1)、神奈川県の県外観に大きな財工で低く、トップの沖縄県(八八%)や京に大いで低く、トップの沖縄県(八八%)や京に大いで低く、トップの沖縄県(八八%)や京に大きな対象として聞き取り調査を実施しまた、一九九五年に、経済局が季節ごとに合また、一九九五年に、経済局が季節ごとに合また、一九九五年に、経済局が季節ごとに合また、一九九五年に、経済局が季節ごとに合います。

しかしながら、一九九五年の聞き取り調査町村と比較してみても、高いと言えよう。客誘致力は、全国的に見ても、また県下他市

この特性は、観光客の宿泊比率のデータでも裏づけられる。運輸省の調査によれば(次有消者数の比率はわずか八%であり、本市の行込客数調査でも、その率は概ね一〇%と、入込客数調査でも、その率は概ね一〇%と、

・観光施設入場者(注)観光客数の内訳

観光交通機関乗客 の建造物、博物館、美術館、動物園等 の建造物、博物館、美術館、動物園等 の登造物、博物館、美術館、動物園等 の登造物、博物館、美術館、動物園等

観光イベント観客 定時運行の観光バス、港内・湾内周遊船

表一1 横浜の	観光客数の推移			
年 次	観光客数			
1988年	22,062,432			
1989年	40,194,854			
1990年	26,019,660			
1991年	25,830,595			
1992年	25,721,099			
1993年	28,482,995			
1994年	30,581,939			
1995年	29,722,565			
1996年	29,724,620			
1997年	29,765,532			
1998年	28,504,473			
1999年	34,175,021			

34,175,021 注)横浜市経済局調べ

層の誘致を図っていくことも重要な作戦のひ とつと言えるのではないだろうか。

3 頑張りどころの観光施設

型施設のそれ)は、観光客数を左右する大き な要因となっている。 %にも達していて、ウェイトが非常に高い。 その入場者の観光客総数に占める割合が七四 であり、とりわけ新規オープン 人の内訳は図―3のとおりで、 九九九年の横浜の観光客三四、 この年だけではない 一貫した傾向 観光施設は (中でも、 一七五千 大

四年には、三月にラーメン博物館がオープン 対前年比で二〇%増を記録したのである。 こはま動物園(ズーラシア)がオープンして、 リニューアルしたコスモワールド、 えることができた。一九九九年には、三月に 年比で一一%増加している。また、翌一九九 オープンしたが、この年、 し、年間三〇、〇〇〇千人を超す観光客を迎 たとえば、一九九三年には、 また七月にはランドマークタワーが 観光客総数は対前 五月に横浜八 四月によ

持、向上のためのソフト面での企画力強化や、 設の誘客力は当分の間は失われることはない とした観光施設が六十七施設であったが、 ちていくのが常なので、既存施設の魅力の維 の新鮮さが失われていくとともに集客力が落 と思うが、どのような施設であれ、 (ード面での思い切ったリニューアルなど 今後も新規整備が見込まれることから、 従来以上に求められることになろう。 一九九九年は、 統計把握の対象 開業当初 う

か。 0

すなわち、

ウィーク・

ポイントが見えてこないだろう 観光客に最も人気が高い

ち新規開業は七施設(入場者数は二、二二〇 千人)。これに対して、既存は六十施設(入場 良いであろう。 し、 性化は待ったなしの状況になっていると認識 場者数を減少させているので、 者数二三、○八○千人、対前年比二、 早期に本腰をいれた取組を開始した方が であるが、うち四十一の施設では入 リニューアルによる再オープン施設 既存施設の活 八九〇

4 「観光ハブシティ」への挑戦

以下、 地での観光客の行動の推移に関するデータ まとめた、一九八一年以降五年ごとの、 は、 国旅行動態調査」を基に総理府内政審議室が 賞、 にある。これに対して、「遺跡・文化財の鑑 これらの行動をとる観光客の割合も増加傾向 での休養」に次ぐ行動パターンになっている。 い割合を維持し、 然・風景鑑賞」は、 多い行動パターンになっている。 続け、一九九六年には五〇%を超えて、 によれば、「温泉などで休養」する人の割合 (「一九九九年版・観光白書」所収/図―4 観光客が、今なにを求めているのか。 このような観光客の動向から、 一九八一年の三〇%程度から年々増加を 「社寺参詣」は一〇数%の割合をもって 「遊園地・レジャーランド」が続くが 「特産品などの買物・飲食」、「ドライ 近年はやや減少気味である。 一九九六年には この間コンスタントに高 横浜の また、 「温泉など 最も 目的 親光

都道府県別 図-1

観光客・県外比率 (単位:%、東京・大阪を除く) 60.0% 80.0% 100.0% 0.0% 40.0% 京大長石山長島佐福山都分崎川梨野根賀井口 和數三群岡岐福山岩熊徳兵新宮広静栃鳥高愛宮愛歌茨三群岡岐福山岩熊徳兵新宮広静栃鳥岡木取知媛山知城黒馬山阜島形手本島庫潟崎島岡木取知媛山知 《海宫秋福千青埼香滋· 《海宫秋福千青埼香滋· 平均 44.9% 注) 運輸省運輸政策局観光部調べ

都道府県別 図一2 観光客・宿泊比率 (単位:%、東京・大阪を除く) 50.0% 0.0% 長崎 長町 公川 神縄 鹿児島 宮城富山 山塚 和歌山 神奈川 奈良埼玉

注) 運輸省運輸政策局観光部調へ

平均 18.5%

活用を考えるしかない。

だ用を考えるしかない。

だまらぬ人気を持つ「鑑賞すべき自然・風景」
に乏しいことである。残念ながら、温泉にしても、人工的につくり出するとができないので、近隣にあるそれらの

区が形成されている。 域が形成されることになり、 遊できるようにする広域的な外客来訪促進地 して、 律に基づいて、 関する法律」が公布、 地域の多様化の促進による国際観光の振興に と宿泊拠点とからなる地域をネットワーク化 九九七年六月に「外国人観光旅客の来訪 北東北、 関西、 外国人旅行者が三泊から五泊程度で周 東中四国、 南東北、 優れた観光資源を有する地域 施行されたが、この法 富士箱根伊豆、 瀬戸内、 現在までに、 沖縄の十地 東海、 北

取り組んでいくことにしている。 川県内だけのミニ観光ルートの開発などにも けの交通機関・宿泊施設・観光施設等の優待 後は、具体的な観光ルートの開発や外国人向 御殿場市、 ガイドブック等の作成が主体であったが、今 っている。これまでの二年間は、 奈川県は湯河原町、 市等三市六町六村、 ている市町村は、 神奈川県中西部にまたがっており、 箱根伊豆地区は、山梨県東部、 、ス導入の検討などを進めることになってい このうち、 鎌倉市に横浜市が加わった四市二町とな 地区全体を考えると同時に、 富士宮市等九市十一町二村で、 最も早い時期に形成された富士 山梨県が甲府市、 静岡県が下田市、 箱根町、 小田原市、 静岡県東部 実態調査や 富士吉田 包含され 熱海市、 神奈 神

> 鑑賞 いる、 つ 落ちてきているとはいえ、 る。 現在最も人気のあるもので、横浜には欠けて 泉あり、 またそのうちの県内の市町だけを見ても、 心強いことである。 ることに成功すれば、国内観光客に向けても 鎌倉が、この連携の輪に参加しているの この富士箱根伊豆地区の市町村を見ると、 また、 Þ あるいは足りない点が補えることにな 自然ありで、 「社寺参詣」 最近の国内観光客にはやや人気が の場としての特性を持 今後効果的な連携を図 「遺跡・文化財の 温

で連携が実現することにもなる。

これに加えて、反対方向に目をやると、単の施設として群を抜く集客力を誇る東京ディズニーランドが、東京湾の対岸・千葉県浦東京ディズニーランドが、東京湾の対岸・千葉県浦東京ディズニーランドが、東京湾の対岸・千葉県浦東京が北条されたが、これが実現すれば、「遊園地・レジャーランド」の雄までもが、広く開設が提案されたが、これが実現するよど、単にもなる。

港するフィーダーポートの選別が進み、 ず の効率化が追求されているが、 によりトータルでの海運貨物量の増加と輸送 ブポートと、そこからの枝線航路の船舶が寄 すると観光客の選択を惑わせて、 留まってしまうことである。これは、 図られないまま、 相互の対等意識が先に立って連携の実質化が 今港湾では、基幹航路の船舶が寄港するハ 問題はその具体化である。ありがちなのは、 これを参考に、 に終わるだけになる危険性が高い。 単なる共同キャンペーンに ハブ都市―フィーダー都市 観光において 一虻蜂とら 下手を それ

> は思い込んでいるのだが。 どで優位に立つ横浜をおいて他にないと、 る最有力候補は、 て、 訴求力も強まり、 までを考えたらどうだろう。 ペ という考え方を採り入れて、 その時に「ハブシティ」のポジションを狙え ーンのやり方から域内の観光ルートの設定 連携の実が上がるのではないだろうか 観光資源の量や観光客数 また観光客の利便も向上し 観光客に対する 対外的なキャン 私

> > 1999年

観光客総数

34,175,021人

観光施設

25,300,398人

(74%)

|「ビッグイヤー」にしよう、二〇〇二年

5

二〇〇二年はワールドカップサッカー大会が開催される年である。海外からも多数の観
は、この機会に年間八百万人の訪日外国人の
誘致を目指す動きが出ているが、これは過去
最高を記録した一九九九年の四、四三八千人
最高を記録した一九九九年の四、四三八千人
のほぼ倍にあたる目標値である。

ない。 の米国 国人訪問者受入数比較では(次頁図―5)、 いるか。同年の調査によれば(「一九九九年版 士 ーシアがわが国より上位におり、 諸国が名を連ねるが、 ップのフランス(六七、三一〇千人)、 いものではないのが現状で、一九九七年の外 観光白書」 このうち、どのくらいの人が横浜を訪れ しかし、この人数は世界的に見るとさ程多 中国、 位(四、 地理的な条件もあって、 (四七、 香港、 二二〇千人)に留まっている。 所収/次頁表-2)、訪問率が 七五〇千人)には遥かに及ば タイ、 アジア諸国と比較して シンガポール、 上位には欧州 日本は第1 第 7

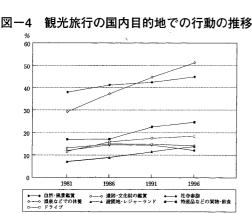
l-3 横浜の観光客の内訳(1999年) _{宿泊客}

3,556,309 (10%)

観光イベント 3,994,907人 (12%) 観光交通機関

1,323,407人

(4%)



ずかに二八三千人で、全国で七番目である。 トップの東京が六二・六%で二、六四二千人、 て五・六%、二三六千人である。 近隣では、東京ディズニーランドが第五位 〇・三%で四三五千人、箱根が横浜に続 %とされているから、実数にしてわ

ないであろうことが想定される。 つので、来浜する外国人はとても倍では済ま 置されることなど、他都市にはない誘因を持 が含まれること、国際メディアセンターが設 えると、試合が行われること、それも決勝戦 に次いで第三位に上がる。その中で横浜を考 十位、アジアでは約一〇、〇〇〇千人の香港 〇二年に倍増したとすると、世界的には第二 仮に、運輸省の目論見どおり、これが二〇

州からが一三%、オセアニアからが四%で、 わせによっては、この構成は大きく異なって 横浜あるいは日本で開催される試合の組み合 南米やアフリカからは一%にも満たないが、 アジアからが六四%、 また、一九九九年の訪日外国人の構成は、 北米からが一九%、欧

のための海外旅行推奨というような国際政治 開きが大きくなり、一九九九年には訪日外国 年代後半からの急激な円高によって、 くることも想定される。 者数は一六、三五八千人となった。 日外国人数を上回っているが、特に一九八〇 人四、四三八千人に対して、日本人海外旅行 円高という経済的な背景や、国際収支改善 一九七一年以降、日本人海外旅行者数が訪 両者の

情報サービス業等々を加えた「ビジターズ 分離し難いコンベンション産業、広告代理業、

さらに、最近では「集客」という観点から

組の強化に努めていきたいと思う。 の牽引役となっていくよう、 真に期待されるものになり、

<経済局観光コンベンション課長>

されることになった。 までの「ジャパン・パッシング」、「空洞化 的な配慮があったものの、これによる観光や コンベンションから輸送、 に苦しんできた流れに、ともあれ太い棹がさ 製造、業務に至る

グイヤー」にしない手はないであろう。 打って出て、 到な準備が求められるだろうが、この機会に で対応できない状況が想定されるだけに、周 先述のように、横浜では従来の経験の延長 横浜の観光を飛躍させる「ビッ

円 二十兆円で、わが国GDPの四・八%を占め、 ば、 その波及効果は、生産波及効果が四八・三兆 める観光産業の比重は約一○%にも達してい アミューズメント産業、 審議会答申)ているとまでいわれている。 よう期待され」(一九九五年六月、観光政策 幹産業として「二十一世紀の経済を牽引する における役割などを考えると、観光産業は基 の海外移転等)、 査)という状況や、わが国産業の動向(製造業 る(世界旅行産業会議による一九九一年の調 連産業等を包含する観光産業の総生産額は約 運輸省が一九九四年に行った調査によれ しかし、世界全体では、GDPや雇用に占 雇用効果が四百十万人とされている。 旅行業、交通産業、 今後の過疎地域の経済開発 土産品産業、 宿泊業、 飲食産業、

国别从国人岛入数(1006年)

(注)世界観光機関 (WTO) 資料による。

フランス	F		J. (a 1-)	世界で32位		62,406	71位
フランス 米国		and the second	0.77	20 mm 10 mm	146.489	62,400	1
スペイン		Comment of the second	* POPTER	40,5		1	
イタリア		496 EN 192	32			1	
英国	A CONTRACTOR OF SAME	Section 1	25,293			.	
メキシコ		21,4		•	1 1	1	
ハンガリー		20,6		:	1	1	
ポーランド カナダ		19,41 17,329		1		1	
オーストリア		≣ 17,529 ■ 17,090					1
チェコ		17:000					- 10t
ドイツ		15,205	- 1				1
ロシア	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14,587		1	į	1	
香港			;	1	:	1	
スイス		500					-
ポルトガル ギリシャ			:	į		i	
イリンヤ トルコ		' i	i	•	-	1 1	1
シンガポール		;	;	;	;	;	
タイ			: <u>!</u>				- 20f
マレイシア		1	-		į	1	1200
中国		- 1	;	:	i	;	1
オランダ ベルギー					- 1	1	1
アイルランド					i		
インドネシア							-
南アフリカ共和国		1	1	1	1		ļ
マカオ			- 1		- 1		
アルゼンチン			ì	i	- 1	1	1
オーストラリア		4					- 30f
チュニジア		— B本 (20447				
日本韓国		D'A (3211/	•	- 1	i	
エジプト		1.	1	;	;	1	1
サウジアラビア		;	1				_
プエルトリコ					1	1	
ルーマニア		- 1	1	İ	1	1	
プルガリア		- 1	-		1 1		1
ノルウェー モロッコ				;			Ι.
ブラジル		,-,					- 40f
クロアチア		1.1	1		1		
スウェーデン	2,376				;		1
台灣		į	į	i	į		1
イント							-1
ウルグアイ			1	- 1	1	1	
イスラエル		1	}			:	1
フィリピン	2,049	- 1	- 1	i	i	i	1
	: المحاددة للنبيا	- 1	i	i	1		1

考察と日常の取 今後の本市経済 ターズ・インダストリーが、横浜においても 施することにしているが、観光産業やビジ が強まっている。

経済局でも本年度調査を実

業群や地域の振興を考えていこうという動き インダストリー」という概念で、関連する産

表-2 訪日外国人の訪問地訪問率(1997年) (単位:%)						
	訪 問 地		訪問率			
1	東	京	62.6			
2	大	阪	20.8			
3	京	都	14.2			
4	名 古	屋	10.9			
5	東京ディズニーラ	ンド	10.3			
6	福	岡	9.9			
7	横	浜	6.7			
8	箱	根	5.6			
9	奈	良	4.6			
10	ハウステンホ	ミス	4.2			